

2023 年度 武蔵大学大学院
人文科学研究科 博士後期課程 一般入試
社会学専攻【専門科目】問題

* 問題用紙、解答用紙ともに回収します。

[I] 次の 1～3 の問題から 1 つ選び、解答しなさい。解答は別紙の解答用紙に書き、選択した問題番号を解答用紙の指定箇所に記入しなさい。

1. 社会秩序を維持するメカニズムのうち、社会化と社会統制はとくに重要とされている。ここでは、社会統制のメカニズム一般について概説しなさい。
2. 社会及び個人に対する文化の諸機能について概説しなさい。
3. コミュニケーション様式のグローバル化は、文化的差異に対する私たちの認識を改善することになるのでしょうか、それとも、文化的差異を消滅させてしまうことになるのでしょうか。このテーマに関連した重要な理論を打ち出した研究者をあげつつ、いずれかの立場について論じなさい。

[II] 次の文章の下線部 (1) ～ (2) を和訳しなさい。

(1) At birth, we are — each one of us — hurled into a social world we never ever made. We will have absolutely no say about which country we are born into, who our parents and siblings may be, what language we will initially speak, or what religion or education we will be given. We will have no say about whether we are born in Afghanistan, Algeria, Australia, Argentina, or one of several hundred other countries in the world. We will have no say whether we are born into villages, nations or families considered super-rich or in abject poverty. We will have no say whether our initial family is Muslim, Christian, Buddhist, Jewish, Hindu, or any one of several thousand other smaller religions found across the world. What is significant here is that we are born into a world that pre-exists us and will continue after us. These days this world has become a global, digital world.

(2) Yet we are ‘thrown into’ this everyday social world: one that was quite simply one we had no say in making. This is the very world which sociologists study. Every day we confront social currents — ‘social facts’ — which ‘come to each one of us from outside and ... sweep us along in spite of ourselves’. We look at worlds we cannot wish away – worlds that await us and shape us. They are ‘social facts’ over and above us.

(出典) Plummer, Ken, 2021, *Sociology: The Basics*, Routledge, p.p.1-2.

【Ⅲ】 次の日本語の文章を英訳しなさい。

1. 「逸話」というものは重要である。物事を理解してもらうために、話題に肉付けをしたり、リアリティを増したりする効果があるからだ。しかし、それが特定の議論を主張するためだけに使われたとしたら、警告のサインと見るべきである。
2. ツイッターは人の日常生活での、ありふれた出来事を更新するところから始まったが、グローバルな問題についての意見交換が本気で行われるような、格闘の場になっていった。
3. 咳の症状を識別するためのテクノロジーと同じものを使って、笑いを識別することができる。企業や政府が私たちの生物学的なデータを広く収集し始めると、私たちが自分のことを認識しているよりも、はるかに詳しく私たちのことを知ることができるようになる。
4. ロシアのウクライナ侵攻に関する偽情報（ディスインフォメーション）の拡大は、情報の作られ方や伝わり方が世界的に変化していることを反映したものである。情報の氾濫、混乱、認知バイアスはその傾向を加速させてしまっている。